

令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

本協会は、兵庫県における科学技術振興の中核的機構として、平成4年7月に設立されて以来、県内の研究者等を対象とする研究助成事業や、県民を対象とした科学技術の普及啓発事業等に取り組んできた。以下に記載の4本の柱の下、各種事業を展開した。

「科学技術の総合的な振興」については、基盤的研究から応用研究、萌芽的研究まで幅広い分野での学術研究への助成や、「ロボットコンテスト」に参加する県内工業高等専門学校への支援等を実施した。

「科学技術の普及・啓発」については、一般県民を対象にした「ひょうご科学技術トピックスセミナー」や、県内高校生を対象に理系大学生・大学院生がサイエンスカフェ形式でアドバイスする「サイエンスフレンドシップ事業」等を行った。

「地域産業の技術開発力強化・育成」については、中小企業等に対する技術相談・指導や技術高度化研究開発助成事業等により企業の技術高度化を促進するとともに、専門人材を配置して产学研官連携を促進した。

「放射光研究開発の支援」では、兵庫県ビームライン及び兵庫県放射光研究センターの管理運営及び企業への県ビームラインの利用提供や技術相談・助言を行うとともに、データサイエンスと放射光の相互利用を促進した。

【理事会開催状況】

区分	開催年月日	議題
第58回	令和5年5月23日	令和4年度事業報告の件、令和4年度収支決算の件、科学技術振興基金積立の件、評議員会招集の件
第59回 (決議の省略)	令和5年6月7日	理事長及び専務理事の選定の件
第60回 (決議の省略)	令和5年7月13日	評議員会招集の件
第61回	令和6年3月18日	令和5年度収支補正予算の件、令和6年度事業計画の件、令和6年度収支予算の件、役員賠償責任保険契約締結の件
第62回 (決議の省略)	令和6年3月31日	評議員会招集の件

【評議員会開催状況】

区分	開催年月日	議題
第38回	令和5年6月7日	令和4年度収支決算の件、評議員選任の件、役員選任の件
第39回 (決議の省略)	令和5年7月13日	理事選任の件
第40回 (決議の省略)	令和6年3月31日	評議員選任の件、監事選任の件

令和5年度事業体系

【主要事業】



I 科学技術の総合的な振興

1 振興方策の総合的な企画調整

(1) 振興方策の企画立案

ア 総合企画委員会の開催

協会運営や協会が実施する事業に関する助言を得るため、産学官の有識者で構成する総合企画委員会を開催し、中期収支計画のフォローアップ及び今後の協会事業の運営について協議した。

○開催日：令和5年11月27日(月)

(2) 振興を図るための調査・情報提供

ア 県内研究機関データ調査

県内の研究機関等の相互連携を促進するため、研究機関等の基本情報を調査し、情報提供を行った（調査機関数：990機関、隔年実施のため5年度は調査無し）。

イ 協会ホームページの運営等

・ 協会ホームページの運営

協会の活動状況や大学等研究者シーズリンク集など、地域の産業・科学技術等の話題を広くPRするため、ホームページにより、幅広く情報提供を行った。

(アクセス件数：1,008,021件)

・ 「ひょうご研究機関メーリングリスト」の運営

科学技術に関する情報を幅広くタイムリーに提供するため、登録者全員にメールが配信される「ひょうご研究機関メーリングリスト」の運営を行った。

(登録件数：114件)

・ 「播磨産業技術情報」の発行

播磨地域の産業振興、科学技術等の情報を取りまとめた「播磨産業技術情報」を、県内の企業、関係機関に提供した（月1回発行）。

(送信件数：506件)

2 学術的研究の促進

(1) 学術的研究の支援

ア 学術研究助成事業

基礎的・基盤的な研究から産業の高度化に貢献する応用的・実用的な研究及び若手研究者による創造的・萌芽的研究を奨励するため、令和5年度助成対象の研究計画に研究資金を交付するとともに、令和6年度に助成する研究計画を公募・選定した。

また、令和4年度に助成した学術研究助成について、成果報告書をとりまとめ、当協会ホームページ上に掲載し、研究成果の普及を図った。

○応募・採択件数、助成総額

区分	R5年度(交付)		R6年度(公募・選定)
	通常枠	特別枠	通常枠
応募件数	147件	6件	129件
採択件数	32件	1件	33件
助成総額	32,000千円	1,000千円	33,000千円

イ 学術研究助成「研究発表会」等の開催

令和5年度学術研究助成者への贈呈式と併せて、代表者が研究計画を発表する「研究発表会」を行った。

○開催日：令和5年6月16日(金)

ウ 学術研究助成成果フォローアップ調査事業

学術研究助成事業の今後のあり方や研究結果の活用方策について検討するため、助成後2年目、5年目、10年目の助成者を対象に、研究結果の評価や波及発展の状況及び学術面や生活・産業面への波及効果等について、フォローアップ調査を実施した。

(2) 教育機関の実践的教育の支援

ア 高専のロボコン参加への支援

実践的・創造的なものづくり人材の育成に寄与するため、工業高等専門学校の実践的教育として認知度の高い「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト」におけるロボット製作費用を助成した(近畿地区大会出場)。

○助成先：国立明石工業高等専門学校 神戸市立工業高等専門学校

○助成額：計600千円(明石高専300千円、神戸高専300千円)

II 科学技術の普及・啓発

1 普及・啓発の充実強化

科学技術への興味・関心を高めるため、科学技術の情報提供やセミナーなどの普及啓発活動を行うとともに、協会の活動を広くPRした。

(1) 科学技術の普及・啓発の推進

ア ひょうご科学技術トピックスセミナーの開催

一般県民を対象に、科学技術の各分野における第一人者を講師に招き、最先端の科学技術をわかりやすく解説する「ひょうご科学技術トピックスセミナー」を開催した。

○開催日：令和6年1月27日(土)

○会場：ホテルクラウンパレス神戸 5階 ザ ポールルーム

○講師：高橋 雅紀 氏(地質学者)

○テーマ：日本列島 山国誕生の謎 一東西圧縮の原因一

○参加者数：129人

イ 機関誌「ひょうごサイエンス」の発行

協会の活動を一般に広報するとともに、科学技術に関する最新の話題を提供するため、機関誌「ひょうごサイエンス」を発行した。

○発行部数：2,000部(令和6年3月発行)

○配布先：関係企業、関連機関、商工会議所、県内の公共施設・学校等

ウ 国際フロンティア産業メッセの共催

21世紀に飛躍する新産業の創出を促進し、国際的な技術・ビジネス交流を加速させるため「国際フロンティア産業メッセ2023」を関係機関と共に共催した。

また、当協会の支援により技術開発や商品開発に取り組んでいる企業や県内大学・高専に参加を呼びかけ、「ひょうご科学技術協会グループ」として出展し、開発製品や研究内容などを広く発信した。

○開催日：令和5年9月7日(木)～8日(金)

○会場：神戸国際展示場1・2号館

○入場者：約13,600人

(2) 青少年に対する科学技術の普及・啓発の推進

ア サイエンスボランティア支援事業

青少年の科学技術への関心と正しい理解を促進するため、理科教師、自然科学研究者やそのOB等が行う、小学校高学年から中学生の青少年及びその教育者を対象とする実験教室などの科学学習分野に関するボランティア活動に対し、助成金を交付した。

○助成件数：8件

○助成総額：1,109千円

○参加者数：延べ1,088人

イ 青少年のための科学の祭典の共催

楽しい科学実験や科学工作などを通じ、子どもたちが自ら体験し、科学に対する興味や関心を高めるため、県内5会場（神戸、東はりま、姫路、豊岡、丹波）において各会場大会実行委員会等と共に開催した。

○参加者数：延べ7,307人

ウ サイエンスフレンドシップ事業

大学生・大学院生が研究内容、学生生活の魅力などを高校生にアドバイスするサイエンスカフェを実施した。

○サイエンスカフェの開催

開催日	内 容	会場	派遣大学生等人数
令和5年 7月16日(日)	9th Science conference in Hyogoと 同時開催(総参加者数205名)	神戸大学百年記念 (神大会館)六甲ホール	9人
令和6年 1月21日(日)	第16回サイエンスフェアin 兵庫と 同時開催 (総参加者数1,055名)	甲南大学FIRST 7階ラウンジ	7人

III 地域産業の技術開発力の強化・育成

播磨地域の産業活性化と技術高度化を図るため、技術参与や技術アドバイザー等を配置し、大学や公的研究機関等と地域産業の交流・連携を促進し、高度技術の開発又は利用による新事業の創出や新分野への進出を支援した。

1 産学官連携の促進

(1) 産学官連携体制の強化

ア 産学官連携コーディネートの推進

産学官連携の専門人材を配置し、大学等の研究機関の研究開発シーズと企業の研究開発ニーズのマッチングのサポートや産学連携による共同研究のコーディネートを推進するなど、産学官の連携を促進した。

○主な内容

- 兵庫県成長産業育成のための研究開発支援事業採択に向けた産学官の連携促進
- 技術高度化研究開発支援助成事業採択に向けた産学官の連携促進
- その他競争的資金獲得に向けた相談、技術開発のための産学官連携にかかる相談

イ 企業・大学院連携研究事業

県内大学の大学院生の資質向上や県内企業の活性化、技術の向上を図るため、大学院生が行う県内企業との産学共同研究を支援した。

○助成件数：3 大学、8 テーマ

○助成総額：1, 800 千円

2 企業の技術高度化促進

(1) 技術高度化と研究開発の支援

ア 技術高度化研究開発支援助成事業

播磨地域に事業所を有する中小企業等が、新分野進出や新事業創出を図るために取り組む新技術・新製品の研究開発事業を公募、選考し、助成金を交付した。

○助成件数：4 件

○助成総額：5, 000 千円

イ 技術指導事業

播磨地域の中小企業が抱える多種多様な技術課題について速やかに対処・解決するため、機械や化学などの専門家を技術参与やシニアアドバイザーとして配置し、企業訪問や電話などによる技術相談・指導を行った。また、企業ニーズと大学等のシーズとのマッチングを支援することにより、産学共同研究の推進を図った。

○相談・指導件数：225 件

ウ 兵庫県成長産業育成のための研究開発支援事業等への参画

企業の新技術や新製品開発を目的として、産学官連携による共同研究プロジェクト等を構築し、成長産業育成のための研究開発支援事業へ代表機関として応募するとともに、採択されたプロジェクトを効果的に進めるためにコーディネートを行った。

○プロジェクト件数：4 件

○補助金交付額：計 11, 000 千円

エ ものづくりの高度化支援

スマートものづくりセンター播磨の管理運営の委託を受け、IoT、AI、ロボットなどの活用により、中小企業のものづくりの高度化を推進する。また、走査型電子顕微鏡等、ものづくり関連機器の管理運営及び技術指導、機器利用講習会を開催する。

○利用件数：99 件

○機器講習会：11 回開催、延べ 20 人参加

(2) 企業イノベーションの推進

ア 中小企業交流団体等への支援事業

はりま産学交流会が実施する創造例会等を共催するとともに、中小企業交流団体等が播磨地域の産業技術高度化を図るため実施する講演会・研修会等、技術交流に係る各種事業を支援した。

○主な事業 はりま産学交流会事業の支援（共催）

その他セミナー、シンポジウムの支援

イ ものづくり共創セミナー

製品の企画・研究・開発・生産を、消費者や連携企業、大学・研究機関、自治体など様々な関係者と協力して行うことで、新製品の開発や多様化するユーザーニーズへの対応など、新たな価値を創出するという取り組みを推進することで地域の活性化に資することを目指して、ものづくりの高度化や新産業の創出に繋がる技術、情報を紹介する「ものづくり共創セミナー」を、関係団体と共に開催した。

○開催回数：2回

○参加者数：165人

IV 放射光研究開発の支援

1 大型放射光施設SPring-8の産業利用支援

(1) 兵庫県ビームラインの産業利用の促進

ア 兵庫県ビームライン等の管理運営

兵庫県がSPring-8に整備している2本の県専用ビームライン(BL24XU、BL08B2)及び、放射光の産業利用支援拠点である兵庫県放射光研究センターの管理運営を行った。

イ 放射光産業利用の促進に向けた支援

(ア) 兵庫県ビームラインの利用提供

○利用機関：BL24XU 17機関、BL08B2 8機関、計22機関

※利用機関数は、各ビームラインの利用機関に重複があるため、計と一致しない。

○研究課題：BL24XU 18課題、BL08B2 16課題、計34課題

(イ) 企業への技術相談・助言

放射光に関心を持つ企業の技術相談に応じるほか、企業における活用事例を示して、企業のSPring-8利用に向けた助言を行った。

○相談件数：26件

(ウ) 測定・解析等受託サービス

SPring-8による測定を自社単独ではできない企業について、試料の測定から解析までを代行して行う受託サービスを実施した。

○受託件数：12件

ウ 産業利用促進のための普及・啓発

(ア) 産業利用報告会の共催

SPring-8を用いた産業利用成果発表を通じて、放射光の有効性を産業界に周知するとともに、産業界ユーザーの相互交流を目的として、SPring-8利用推進協議会等と共に、産業利用報告会を開催した。

○開催日：令和5年9月7日(木)・8日(金) (神戸国際会議場)

○参加者数：221人

(イ) ひょうごSPring-8賞の実施

SPring-8の認識と知名度を高めるため、SPring-8を活用した研究成果の中から、実用化・製品化につながり、社会経済全般の発展に寄与される研究成果を選考し、「第20回SPring-8産業利用報告会」において、表彰式と受賞者による受賞記念講演を実施した。

○表彰式・受賞記念講演：令和5年9月7日(木) (神戸国際会議場)

(2) イノベーションの創出に向けたプロジェクトの推進

ア マテリアルズ・インフォマティクス（M I）の活用促進

(ア) 放射光科学、計算科学及び情報科学の分野融合の強化

公益財団法人計算科学振興財団と覚書を締結し、M Iに関する専門人材配置・人材育成・情報収集等の取組に関し相互に連携・協力して、産業界におけるM Iの取組を促進した。

○負担金：3, 000千円

(イ) 中小企業等のM Iの活用支援

県ビームラインにおけるマテリアルズ・インフォマティクス活用のコーディネート等を推進する人材を配置するとともに、マテリアルズ・インフォマティクスを活用する中小企業等を技術的に支援した。（企業等支援実績：1件）

(ウ) 兵庫県マテリアルズ・インフォマティクス研究会による人材育成

M Iに関心のあるS P r i n g – 8 ユーザーで構成する「兵庫県マテリアルズ・インフォマティクス研究会」を運営し、関係機関とともにM I活用企業の裾野拡大に向けた講演会、実習等を開催した。

○講演会：令和5年8月3日(木)、令和6年1月23日(火)

○実習：令和5年6月～令和6年1月

イ 次世代電池・半導体シンポジウムの開催

次世代電池等の分野での県の強み(科学技術基盤、研究機関、最先端研究等)や潜在力を発信するシンポジウムを開催した。

(ア) 次世代電池・半導体シンポジウム

○日時 令和6年3月8日(金) ラッセホール ブランシュローズ（オンライン同時開催）

○参加者数：242人(来場59人、WEB183人)

令和5年度事業報告附属明細書

(令和5年4月～令和6年3月)

1 学術的研究の支援

- (1) 学術研究助成事業 2

2 教育機関の実践的教育の支援

- (1) 高専のロボコン参加への支援 5

3 科学技術の普及・啓発の推進

- (1) ひょうご科学技術トピックスセミナー 6

- (2) 国際フロンティア産業メッセ 6

4 青少年に対する科学技術の普及・啓発の推進

- (1) サイエンスボランティア支援事業 7

- (2) 青少年のための科学の祭典 8

- (3) サイエンスフレンドシップ事業 8

- (4) 科学の甲子園ジュニア全国大会への協賛 8

5 産学官連携体制の強化

- (1) 企業・大学院連携研究事業 9

6 技術高度化と研究開発の支援

- (1) 技術高度化研究開発支援助成事業 10

- (2) スマートものづくりセンター播磨 技術指導事業 11

- (3) 成長産業育成のための研究開発支援事業への参画 12

- (4) ものづくりの高度化支援 13

7 企業イノベーションの推進

- (1) 中小企業交流団体等への支援事業 14

- (2) ものづくり共創セミナー 16

8 兵庫県ビームラインの産業利用の促進

- (1) 兵庫県ビームライン等の管理運営 17

- (2) 放射光産業利用の促進に向けた支援 17

- (3) 産業利用促進のための普及・啓発 18

9 イノベーションの創出に向けたプロジェクトの実施

- (1) マテリアルズ・インフォマティクスの活用促進 19

- (2) 次世代電池・半導体シンポジウムの開催 20

公益財団法人ひょうご科学技術協会

1 学術的研究の支援

(1) 学術研究助成事業

自然科学分野の研究活動を支援するため、県内の研究者等から研究計画を募集し、研究資金の助成を行った。

ア 助成金の交付等

本県の強みである先端科学技術基盤を活用した研究を促進するための「特別枠」を含め、令和4年度に公募、選定した下表の研究計画に対し、助成金を交付した。また、研究助成金の「贈呈式」と「研究発表会」を、県公館で行った。

- ・令和5年度助成対象者：33人（通常枠 32人 特別枠 1人）
- ・1件あたり上限助成額：1,000千円 ※特別枠は、1,000千円／件・年（最大3年間継続可）
- ・応募件数 : 153件（通常枠 147件 特別枠 6件）

（50音順・敬称略）

系 分 類	氏 名	所 属	役 職	研 究 内 容
医学・薬学・看護系	池谷 真	京都大学 iPS細胞研究所	准教授	進行性骨化性線維異形成症の革新的治療法開発
	北尾 真梨	神戸大学大学院 保健学研究科	助教	予後不良である疾患を持つ子どもの治療選択に対し医療者の言葉が与える影響
	齊藤 泰之	神戸大学大学院 医学研究科	講師	ランゲルハンス細胞組織球症に対する新規免疫療法の開発
	菅原 健二	神戸大学 医学部附属病院	特定助教	消化管における逆行性グルコース輸送機構の分子機構および生理的意義の解明
	千藤 莊	神戸大学 医学部附属病院	特定助教	Neddylation制御による関節リウマチおよびリウマチ肺の新規治療法開発
	玉田 紘太	神戸大学大学院 医学研究科	助教	新規自閉症関連遺伝子、NDN遺伝子の分子メカニズム解明
	古屋敷 智之	神戸大学大学院 医学研究科	教授	慢性ストレス・老化による炎症反応を起点とした神経回路変容の解明
	前重 伯壯	神戸大学大学院 保健学研究科	准教授	エクソソーム放出を促す骨格筋温熱条件の解明による炎症性病態制御手段の開発
	山西 恭輔	兵庫医科大学 医学部	助教	精神免疫に着目した精神疾患と免疫ネットワーク機構の解明
	吉田 幸祐	神戸大学大学院 保健学研究科	助教	認知症における新規血中バイオマーカーの探索～炎症誘導性マイクロRNAの意義～

系分類	氏名	所属	役職	研究内容
生命科学・農学系	岡部 恵美子	理化学研究所 生命機能科学研究中心	研究員	核-ミトコンドリア間コミュニケーションによる寿命延長の分子機構の解明
	嶋川 銀河	関西学院大学 生命環境学部	助教	褐虫藻におけるゲノム編集および酸素還元酵素の機能解明
	茶谷 紘理	神戸大学大学院 理学研究科	准教授	細胞内液滴からのアミロイド核発生機構の解明
	辻 かおる	神戸大学大学院 理学研究科	准教授	花の雌雄差が昆虫や微生物群集に与える影響の環境依存性を解き明かす
	古川 可奈	大阪大学 エマージングサイエンスデザインR3センター	特任助教	輪状軟骨パターニング形成メカニズムに基づく、移植可能な気管組織の創出
	万谷 洋平	神戸大学大学院 農学研究科	助教	腸内細菌叢による腸管免疫系の概日リズム制御の実態解明
	山下 栄樹	大阪大学 蛋白質研究所	准教授	薬剤排出タンパク質複合体の機能発現に関わる連結分子の分子間認識機構の解明
理学系	岡野 健太郎	神戸大学大学院 工学研究科	准教授	精密制御ハログンダンスを鍵とする革新的有機トランジスタ合成
	小谷野 由紀	神戸大学大学院 人間発達環境学研究科	助教	自己駆動運動における粒子間相互作用の解明
	佐野 恭平	兵庫県立大学大学院 地域資源マネジメント研究科	講師	ニュースバル放射光施設の光電子顕微鏡を用いた火山噴出物の解析
	鈴木 航	兵庫県立大学大学院 工学研究科	助教	高い反応性と耐久性を兼ね備えた金ナノクラスターの創製と触媒反応への応用
	中田 勝	兵庫県立大学大学院 理学研究科	助教	固体内の超高速電子系ダイナミクスの一軸性圧力による制御とその機構開発
	波多野 学	神戸薬科大学 薬学部	教授	高活性リン酸系触媒を用いる環境調和型エステル合成法の開発
	吉田 将己	関西学院大学 生命環境学部	専任講師	蒸気分子との接触を鍵とする金属錯体の発光特性と磁気特性との協奏的制御

系分類	氏名	所属	役職	研究内容
工学・情報・学際系	足立 大樹	兵庫県立大学大学院 工学研究科	教授	電子ビーム型金属 3D プリンタを用いた新規 Al-Fe 系耐熱合金の高速積層造形
	乾 秀之	神戸大学バイオシグナル総合研究センター	准教授	環境残留性が高い有機フッ素化合物を代謝する酵素の取得と代謝機構の解明
	宇野 宏司	神戸市立工業高等専門学校 都市工学科	教授	里山ため池の再生による流域改善と淡水域ブルーカーボン機能の評価
	公江 仁一	神戸大学大学院 海事科学研究科	特命助手	気候変動と富栄養化が閉鎖性水域に及ぼす影響評価
	嵯峨 宣彦	関西学院大学工学部	教授	リンク機構を用いたリハビリ患者のためのアクチュエータレス起立支援デバイス
	田口 翔悟	兵庫県立大学大学院 工学研究科	助教	バイセルを用いたジアセチレン含有マイクロバブルの作製
	中村 望	兵庫医科大学 医学部	助教	呼吸制御による認知機能向上とストレス低減効果の解明
	松岡 淳	神戸大学先端膜工学研究センター	助教	イミン結合のpH応答性を利用した機能性ポリマーの開発と正浸透膜分離への応用
特別枠	岡 好浩	兵庫県立大学大学院 工学研究科	准教授	化学農薬の代替となるキャビテーションプラズマ殺菌水生成装置の開発

イ 研究計画の公募・選定

令和6年度に助成する研究計画を公募し、応募のあった研究計画について審査委員会において審査した。

区分	通常枠
公募期間	9月1日～10月13日
応募件数	129件
採択予定件数	33件

2 教育機関の実践的教育の支援

(1) 高専のロボコン参加への支援

未来のエンジニアを育てる教育イベントとして年1回開催されている「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト」(通称・高専ロボコン)に参加する県内2校の高専に対して参加費用を助成した。ロボットの完成度やパフォーマンスとともに、テーマ設定やアイデア自体を競うもので、神戸市立工業高等専門学校と明石工業高等専門学校は助成金を活用して、創意工夫を重ねたロボットの制作に取り組んだ。

【近畿地区大会概要】

ア 競技課題 「もぎもぎ！フルーツGOラウンド」

制限時間2分半の間に、ロボットが障害物を乗り越えながら、高所に吊るされたフルーツ(に見立てたポール)を収穫し、獲得ポイントを競う競技。

イ 日 時 令和5年10月8日(日)

ウ 会 場 神戸市立中央体育館

エ 出場チーム 近畿地区の7高専から合計14チームが出場

兵庫県から出場した2校・4チームは、残念ながら予選敗退となったが、そのユニークなコンセプト・動きなどが評価を受け、4チーム全てが特別賞を受賞した。

ここ数年、近畿地区のレベルは非常に高く、11月26日(日)に両国国技館で開催された全国大会では、昨年の奈良高専に続き、近畿地区から出場した大阪公立大高専が全国優勝を果たした。



近畿大会での競技の様子

3 科学技術の普及・啓発の推進

(1) ひょうご科学技術トピックスセミナー

科学技術の各分野における第一人者を講師に招き、最先端の話題をわかりやすく紹介する、第41回「ひょうご科学技術トピックスセミナー」を実施した。

NHKブラタモリでも活躍されている地質学者の高橋先生に、日本列島はどのように山国に成長したのか、厚紙の模型を使いながら分かりやすく解説いただいた。

ア 日 時	令和6年1月27日(土) 14:00～15:30
イ 場 所	ホテルクラウンパレス神戸
ウ 講 師	高橋 雅紀 氏(地質学者)
エ テーマ	「日本列島 山国誕生の謎 —東西圧縮の原因—」
オ 参加者	129人



会場内の様子

(2) 国際フロンティア産業メッセ

21世紀に飛躍する新産業の創出を促進するため、「国際フロンティア産業メッセ2023」実行委員会の構成団体として共催した。

また、当協会が支援している19企業、兵庫県内の理工学系大学（高専を含む）10校と合同で「ひょうご科学技術協会グループ」としてグループ出展した。

ア 開 催 日	令和5年9月7日(木)～8日(金)
イ 会 場	神戸国際展示場 1・2号館
ウ 入場者数	約13,600人
エ 当協会の出展	



(ア) ひょうご科学技術協会(1小間)

(イ) 企業のグループ出展(19社、18小間)

- ①浅田化学工業(姫路市)、②㈲アトリエケー(姫路市)、③エムズ(明石市)、
④ガウス(相生市)、⑤岸本工業(姫路市)、⑥ケイ・マック(姫路市)、
⑦ケニックス(姫路市)、⑧㈲征和建設(姫路市)、⑨㈱セシルリサーチ(姫路市)、
⑩龍野コルク工業(たつの市)、⑪田中織維(加古川市)、⑫常盤堂製菓(姫路市)、
⑬西日本衛材(たつの市)、⑭西村製作(たつの市)、⑮日章興産(太子町)、
⑯兵庫県手延素麺(協組)(たつの市)、⑰㈱フジソレノイド(太子町)、
⑲㈲マルブン(たつの市)、⑳㈱リタニアルバイオサイエンス(加古川市)

(ウ) 大学・高専のグループ出展

(8大学・2高専、10小間)

- ①関西学院大学、②吉備国際大学、③甲南大学、
④神戸学院大学、⑤神戸大学、⑥姫路大学、
⑦姫路獨協大学、⑧兵庫県立大学、
⑨国立明石工業高等専門学校、
⑩神戸市立工業高等専門学校



会場内の様子

4 青少年に対する科学技術の普及・啓発の推進

(1) サイエンスボランティア支援事業

青少年の科学に対する興味や関心を高め、科学技術への正しい理解を促進するため、科学実験や工作教室、自然観察など、地域で行うボランティア活動を支援した。

ア 県内の学校や企業、地域などにおいて、主として小学校高学年から中学生を対象として行う科学実験や工作教室、体験学習、自然観察などの事業

助成対象者 (五十音順)	主な 活動地域	開催日	助成 金額 (千円)	参加 人数 (人)	活動内容
青少年と科学技術を 楽しむ会 武市 久仁彦	神戸市 明石市	7月9日ほか (全13回)	80	278	電磁石の製作、AMラジオ製作、 プログラミングなど
技術工作教室 村瀬 吉孝	川西市	6月24日ほか (全13回)	182	111	紙飛行機を飛ばそう、スピーカー 製作、機械が動く仕組みなど
寺子屋クラブ 山中 修	神戸市	7月8日ほか (全9回)	72	58	子ども科学実験教室 (日時計、万華鏡、行機、深海、呼吸のしくみなど)
レイラ・ジャパン 香田 達也	神戸市	7月8日ほか (全5回)	160	27	ひよどりキッズ・サイエンスラボ (磁石、光と色の世界、文房具など)
神戸大学農学研究科 宇野 知秀	神戸市	11月11日 (全1回)	130	15	兵庫県の農産物(大豆など)に含 まれている成分を調べる
舞子天文同好会 穂積 正人	尼崎市・三木 市・淡路市・ 加古川市	7月23日ほか (全10回)	153	360	天体観察会・小型望遠鏡製作・モ デルロケットの製作打ち上げなど
兵庫県立大学西はり ま天文台 竹内 裕美	佐用町	8月12日ほか (全4回)	132	78	水ロケットをとばそう、宇宙飛 行士に挑戦
小 計			909	927	

イ 県内の小学校・中学校で理科教育を行う者に対して、科学実験、自然観察、教材製作等について指導・助言を行う事業

助成対象者 (五十音順)	主な 活動地域	開催日	助成 金額 (千円)	参加 人数 (人)	活動内容
かがく教育研究所 齋本 格	加古川市	7月8日ほか (全9回)	200	161	かがくカフェ（観察・実験・工作 の講習と交流会）

【 事業合計 】

1,109

1,088



上皿天秤で重りを計測



飛行機の揚力を学ぶ

(2) 青少年のための科学の祭典

楽しい科学実験や科学工作などを通じ、子供たちが自ら体験し、科学に対する興味や関心を高めるため、「青少年のための科学の祭典 2023」を県内5会場（神戸、東はりま、姫路、豊岡、丹波）において各会場大会実行委員会等と共に開催した。

開催日	開催場所		参加人数
7月29日・30日	豊岡会場	兵庫県立但馬文教府	501人
7月30日	丹波会場	ゆめタウン「ポップアップホール」	390人
8月5日・6日	東はりま会場	加古川総合文化センター	1,312人
8月19日・20日	姫路会場	兵庫県立大学姫路工学キャンパス	1,517人
8月26日・27日	神戸会場	バンドー神戸青少年科学館	3,587人
夏休み時期の土・日曜日に、延べ9日開催			7,307人

(3) サイエンスフレンドシップ事業

高校生を支援する理系大学生・大学院生を組織化し、高校生が集うイベントにおいて「サイエンスカフェ」を開催し、研究内容、学生生活の魅力などを伝える事業に、後援ならびに助成を行った。

[サイエンスカフェの開催]

① 「9th Science conference in Hyogo」

開催日：令和5年7月16日(日)

会 場：神戸大学百年記念館（神大会館）六甲ホール

② 「第16回サイエンスフェアin 兵庫」

開催日：令和6年1月21日(日)

会 場：甲南大学FIRSTラウンジ（ポートアイランドキャンパス内）

(4) 第11回科学の甲子園ジュニア全国大会への協賛

全国の中学生が都道府県を代表して科学の思考力・技能をチームで競う「科学の甲子園ジュニア全国大会（主催：科学技術振興機構）が、令和4年度から6年度まで姫路市で開催されることとなり、引き続き協賛することとした。

・日 時 令和5年12月8日(金)～10日(日)

・場 所 アクリエひめじ

兵庫県からの出場校は、須磨学園中学校、明石市立大久保中学校から各3名が、1チームとなり力を合わせて専門に挑んだ。47チーム、277人が筆記と実技競技に取り組み、香川県代表チームが優勝した。



5 産学官連携体制の強化

(1) 企業・大学院連携研究事業

兵庫県内のものづくり機能を有する兵庫県内大学の研究シーズと、研究開発型ものづくり企業の技術ニーズをマッチングさせ、地域産業の活性化及び企業の技術高度化の向上を図るとともに、当該大学の大学院学生の研究レベルの向上、視野の拡大など人材育成を図った。

・助成金交付対象大学及び金額

兵庫県立大学	3テーマ	900千円
神戸大学	3テーマ	600千円
甲南大学	2テーマ	300千円
計3大学	8テーマ	1,800千円

・助成内容

大学	研究課題	①指導教官名(所属、役職) ②大学院学生名(専攻、年次) ③共同研究企業名(所在地、担当者名)	助成額(千円)
兵庫県立大学	キャビテーションプラズマ殺菌水の有機物分解効果が持続する要因の検討	①岡好浩(工学研究科・電気系工学専攻、准教授) ②北村太輔(工学研究科・電気物性工学専攻 博士前期課程2年) ③榎大日製作所(高砂市阿弥陀1-13-12、橋本智裕)	300
	金属3Dプリンタを用いた熱交換器流路に関する基礎研究	①廣川智己(工学研究科・機械工学専攻、助教) ②中野拓哉(工学研究科・機械工学専攻 博士前期課程1年) ③伊福精密(株)(神戸市西区伊川谷町潤和字西ノ口750番地6、松田幸次)	300
	Si-rich SiO _x 膜を用いた原子状水素センサの開発	①部屋彰(工学研究科・物質系工学専攻、准教授) ②太田和志(工学研究科・材料・放射光工学専攻 博士前期課程1年) ③ケニックス(株)(姫路市北条口2丁目15-501、米澤健)	300
神戸大学	洗浄機内混合液分離への配管組込型旋回分離装置の適用可能性実証試験	①林公祐(工学研究科、准教授) ②木村融(工学研究科機械工学専攻、博士課程前期課程1年) ③森合精機(株)(明石市二見町南二見10番2、森合政輝)	300
	促進輸送膜によるCO ₂ 分離回収プロセスの設計に関する基礎的検討	①神尾英治(工学研究科、准教授) ②陳盈蓁(工学研究科応用化学専攻、博士課程前期課程2年) ③ノーリツ(明石市二見町南二見5、木村左希子)	150
	コーヒー由来残渣物を利用した環境調和複合材料の創製	①西野孝(工学研究科、教授) ②カシングツ(工学研究科応用化学専攻、博士課程前期課程2年) ③UCC上島珈琲(株)(神戸市中央区港島中町7丁目7番7 R&D本部研究開発部、宮川卓、中川真緒)	150
甲南大学	災害時行動変容情報の読み手の危機感による有用性の特徴分析	①難本明代(知能情報学部知能情報学科、教授) ②若杉広介(知能情報学専攻、修士課程1年) ③末吉将也(知能情報学専攻、修士課程1年) ④アドリブワークス(株)(神戸市東灘区向洋町中6-9神戸ファッショントマート8N-10、山岡健人)	150
	イオン液体塩橋を用いた内部液のない参照電極の基礎的性質の検討	①山本雅博(理工学部機能分子化学科、教授) ②三木宏太郎(自然科学研究所化学専攻、修士課程2年) ③王子計測機器(株)(尼崎市常光寺4-3-1、清水政明)	150
計	3大学 8テーマ		1,800

6 技術高度化と研究開発の支援

(1) 技術高度化研究開発支援助成事業

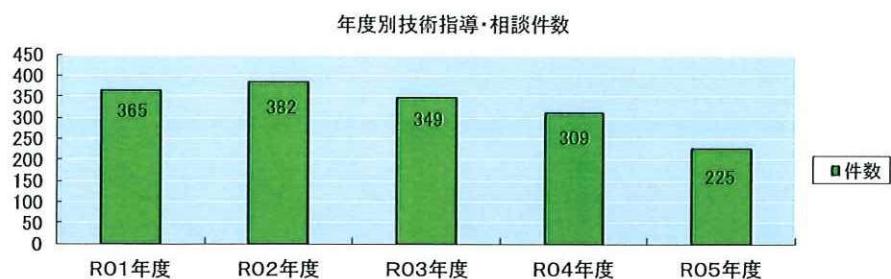
播磨地域に事業所を有する中小企業等が、新分野進出や新事業創出を図るために取り組む新技術・新製品の研究開発事業を公募、選考し、助成金を交付した。

- ・技術高度化研究開発支援助成企業：4件
- ・助成総額：5,000千円

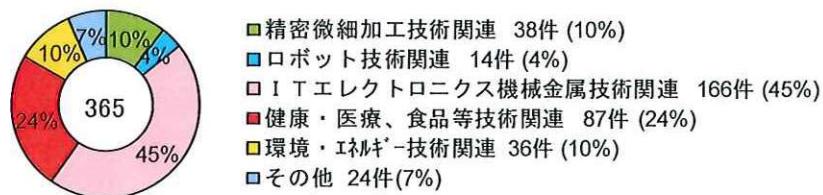
対象企業 (助成金額)	対象事業と概要
(㈱いけうち (1,250千円)	<p>■微粒化性能に優れた高圧1流体加湿用スプレー nozzle の研究開発</p> <p>脱炭素・省エネに貢献するため高圧1流体加湿用スプレー nozzle を開発する。加湿には蒸発速度を早くするため、霧の微粒化が求められる。微粒化にはコンプレッサーエアを使用した2流体加湿用スプレー nozzle が有利だが、コンプレッサーの消費電力が多いことが課題である。一方、ポンプのみを使用する1流体加湿用スプレー nozzle は消費電力を40%低減できるが微粒化性能は劣っているため使用場所が限定される。本事業において①構造の最適化②噴口の微細孔化③ポンプの高圧化の3点から高圧1流体加湿用スプレー nozzle の微粒化を行い、2流体加湿用スプレー nozzle からの置き換えをターゲットとして研究開発を行う。</p>
(㈱ゼブラグリーンズ (1,250千円)	<p>■農業DXによるサステナブルトマト栽培システムの開発</p> <p>人工光(LED)型植物工場のトマト栽培システムの開発を実現する。システム開発に向けた実証実験設備を整備し、設定した達成目標可能な能力を有する品種から洗い出し、実験設備で品種選抜を行ながら、最適な栽培システムを開発する。また、人工光型植物工場でのトマト収穫栽培において長期的な栄養/生殖成長の最適化を目指す。先行事例から水芭症の抑制や生育と、糖度やリコピン増加を両立できる栽培手法を開発する。まずは品種の汎用性を広げることで、農業DXによるサステナブルな園芸作物生産システムの展開をグローバルに行っていく要素技術の開発を実施する。</p>
(播州調味料㈱ (1,250千円))	<p>■米ペプチドが有する機能性を活用した商品開発</p> <p>米は主食として食される他に日本酒や味噌、醤油の原料として利用されるなど、和食にとって欠かすことの出来ない素材である。近年の研究より、日本酒などにピログルタミルペプチドと呼ばれる特異的なペプチドが含まれ、このペプチドは炎症を抑える機能や腸内環境を整える機能などを有していることが報告されている。一方で、日本酒や味噌を多量に摂取することは、アルコールや食塩の過剰摂取に繋がる、といった課題がある。そこで、本研究よりアルコールを含まず、低塩化させ、日常的に摂取しやすいピログルタミルペプチド高含有品を、日本酒や味噌の原料である「米」から生産する方法を研究開発する。</p>
(㈱理創化研 (1,250千円))	<p>■バイオ燃料の廃棄原料を有効活用した「抗糖化」ヘアケア料の開発</p> <p>現在、『ソルガム』という穀物がバイオ燃料の原料として栽培が増大している一方、燃料使用後の廃棄・処分が課題になっている。この廃棄物には「抗糖化」効果が高い成分が含まれており、これを美容成分として有効活用する“使い道”を確立することで環境問題にも貢献しつつ、新しいアンチ・エイジング商品を生み出せる。“糖化”は身体や肌の老化原因として知られているが、毛髪の“糖化”についてはほぼ研究がされておらず、該当する対策効果を持つヘアケア商品もほぼ無いのが現状である。高齢化社会という背景の下、若々しい美容へのニーズは高まっており、毛髪の老化を防ぐ「抗糖化」ケア商品の開発を本事業とする。</p>

(2) スマートものづくりセンター播磨 技術指導事業

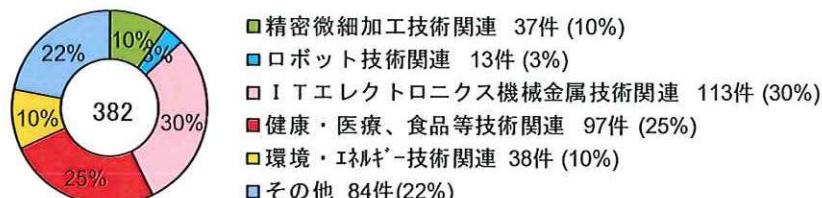
スマートものづくりセンター播磨 技術指導・相談件数



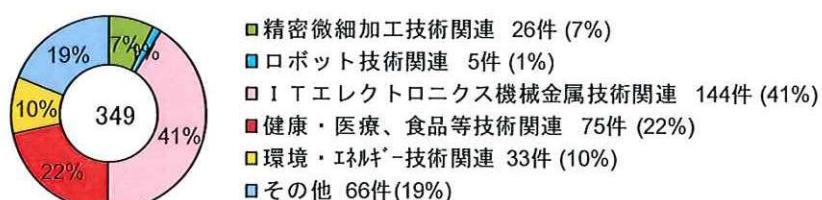
令和元年度 技術指導・相談分野別内訳



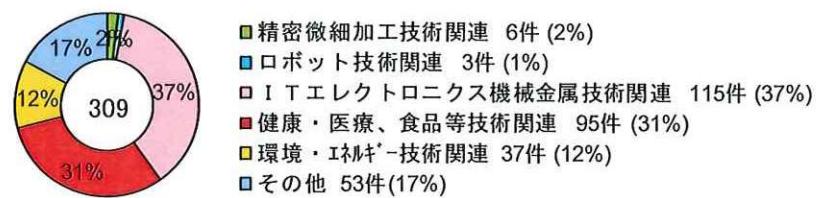
令和2年度 技術指導・相談分野別内訳



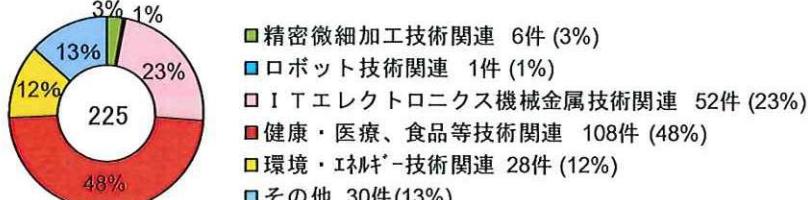
令和3年度 技術指導・相談分野別内訳



令和4年度 技術指導・相談分野別内訳



令和5年度 技術指導・相談分野別内訳



(3) 成長産業育成のための研究開発支援事業への参画

企業における新技術や新製品開発及び企業が抱える技術的な問題点等を効率的に解決するため、産学官連携による共同研究プロジェクト等を構築するとともに、成長産業育成のための研究開発支援事業へ代表機関(研究管理法人)として提案・応募し、採択されたプロジェクトの効果的な推進に係るコーディネートを行った。

- ・成長産業育成のための研究開発支援事業補助対象企業：4件
- ・助成総額：11,000千円

プロジェクト名	主な参画企業・機関・補助金額	事業概要
マイクロプラスチックを代替する高性能多孔質アルミナ製化粧品用配合剤の開発 (令和5年度 「応用ステージ研究」2年目)	①浅田化学工業㈱ ②兵庫県立工業技術センター ③兵庫県立大学 ④(公財)ひょうご科学技術協会 (播磨産業技術支援センター) 補助金額:2,000千円	多孔質アルミナを合成する基礎技術を確立し、その技術を更に発展させ①塩基性乳酸アルミニウムを中心とした溶液を合成するための条件の最適化、②①の溶液の造粒条件の最適化、③②の造粒物の焼成条件の最適化を行うことによって(1)化粧品配合剤中のマイクロプラスチックと同等もしくはそれ以上のクレンジング性を持ち、(2)球状シリカより価格競争力があるマイクロプラスチック代替高機能多孔質アルミナ製化粧品配合剤を開発することを目的とする。
陸上養殖における環境に優しい革新的な除菌システムの開発 (令和5年度 「応用ステージ研究」1年目)	①㈱セシルリサーチ ②兵庫県立工業技術センター ③鳥取大学 ④クルーシャル・クリーリング・パフォーマンス(株) ⑤(公財)ひょうご科学技術協会 (播磨産業技術支援センター) 補助金額:7,000千円	国内の食糧自給率の低下を解決するために、安定した生産が見込まれる陸上養殖が期待されている。しかしながら、魚病被害が頻発しており、陸上養殖普及を阻害する一因となっている。本研究開発では、超高輝度・高出力の短波長可視光による微生物除去技術という独自の特許技術を利用することによって、陸上養殖における魚病被害を、環境にもヒトにも優しく防止する世界初の可視光除菌システムの開発をめざす。
β-キチンナノファイバーの経鼻投与型ワクチンアジュバントへの応用可能性の調査研究 (令和5年度 「可能性調査研究」)	①ヤエガキ醸酵技研㈱ ②徳島大学 ③(公財)ひょうご科学技術協会 (播磨産業技術支援センター) 補助金額:1,000千円	経鼻投与型ワクチンは、感染症の重症化のみならず初感染予防効果を有し、副反応や医療費の軽減といった大きなメリットを与えることが予想される。ワクチン開発には抗体産生を増進させるアジュバント（免疫賦活化剤）が必要であり、本研究では安全で抗原特異的抗体を効果的に誘導するアジュバントの開発を目指す。
超高齢社会において健康寿命の延伸に役立つ歯周病を予防する歯垢形成防止剤の開発研究 (令和5年度 「可能性調査研究」)	①(株)リタニアルバイオサイエンス ②鶴見大学 ③麻布大学 ④(公財)ひょうご科学技術協会 (播磨産業技術支援センター) 補助金額:1,000千円	共生発酵物の口腔内歯垢形成防止効果（バイオフィルム形成阻害）をインビトロ試験やバイオフィルム製造装置等で検証し、定量的データを取得することで、今後の歯垢形成防止剤の開発につなげる。

(4) ものづくりの高度化支援（スマートものづくりセンター播磨）

従来、鉄鋼業を中心に発展してきた播磨地域の製造業は、近年電機機械器具製造業の進展が著しく、その産業形態が変化している。これらを支える要素技術は今後も飛躍的な発展が期待されている。

このような状況から、播磨産業技術支援センター及び兵庫県立ものづくり大学校に設置した各種ものづくり関連機器の管理・運営とともに関係企業の技術者を対象とする機器取扱い講習会を開催した。

・ものづくり関連機器利用件数等

設置場所	播磨産業技術支援センター	兵庫県立ものづくり大学校
機 器	・走査型電子顕微鏡(X線分析装置付)	・CNC3 次元座標測定機
利用件数	99 件	0 件

・機器講習会の開催（会場：ものづくり大学校、播磨産業技術支援センター）

内 容	開 催 日	参加者数(人)
次の各機器に係る講習会 ・走査型電子顕微鏡(X線分析装置付) 講師：宮野医療器㈱ 理器販売促進部 （㈱IHI 検査計測 相生事業所）	6月22日	2
	7月11日	2
	7月14日	2
	8月22日	2
	9月 4日	2
	9月26日	2
	1月24日	2
	2月 5日	2
	2月20日	1
	2月26日	2
	2月27日	1
合 計	11回	20



走査型電子顕微鏡(X線分析装置付)



CNC3次元座標測定機

7 企業イノベーションの推進

(1) 中小企業交流団体等への支援事業

ア はりま産学交流会事業の支援（共催）

※創造例会はハイブリット開催

開催日	内 容	参加者数 (人)
5月19日	定時総会 特別講演会 ※ 地域×企業×大学の連携による新たな時代の開拓 兵庫県立大学 前学長 太田 熊	56
6月16日	創造例会（1） ① 人工知能によるリハビリテーション評価システムの開発 兵庫県立大学先端医療工学研究所 准教授 八木 直美 ② バイオコード化技術を利用した新しい事業の創出 近畿大学バイオコード研究所 専任講師 富田 義弘 ③ 農業の課題解決にむけたソーシャルキャピタル 神戸学院大学現代社会学部 講師 菊川 裕幸 ④ 会員企業発表	35
7月21日	創造例会（2） ① 場の雰囲気を推定・表現するコミュニケーション技術 関西大学総合情報学部 准教授 瀬島 吉裕 ② 南海トラフ地震に対し強靭な免震構造物をどう設計すべきか 明石工業高等専門学校建築学科 教授 中川 肇 ③ 最適なマネジメントの導入 鳥取大学工学部社会システム土木系学科 教授 伊藤 弘道 ④ 水素へ「おきかえる」技術 兵庫県立大学工学研究科化学工学専攻 教授 水素エネルギー共同研究センター センター長 嶺重 温 ⑤ 会員企業発表	36
9月15日	視察研修（企業視察） ㈱新宮運送 損害倉庫 西日本衛材㈱ 龍野コルク工業㈱	18
10月20日	創造例会（3） ① D-アミノ酸の定量技術、これを用いたD-アミノ酸を素材とする食品開発 関西大学化学生命工学部 教授 老川 典夫 ② Speaking Plant Approachに向けた植物生体計測 神戸大学農学研究科 教授 伊藤 博通 ③ 可視光スティング法によるCO ₂ 放出システムの開発 神戸学院大学薬学部 助教 村上 遼 ④ 自動車は地震計になれるか？超高密度地震観測網の実現に向けて 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授 平井 敬 ⑤ 会員企業発表	33
11月17日	創造例会（4） ① 省エネ鉄基軟磁性合金 兵庫県立大学 産学連携・研究推進機構 教授 竹内 章 ② 健康増進のための筋活動量の可視化について 兵庫県立工業技術センター 生産D技術部 上席研究員 平田 一郎 ③ アニオン複合化による無機材料の新機能開拓 近畿大学 理工学部応用化学科 講師 岡 研吾 ④ 殺虫剤を利用しない害虫制御 鳥取大学 農学部生命環境農学科 准教授 中 秀司 ⑤ 会員企業発表	21
合 計		199

イ 播磨圏域ものづくりプラットフォームの活動支援(後援)

開催日	内 容
7月14日	播磨圏域ものづくりプラットフォーム カーボンニュートラルセミナー (会場：姫路商工会議所)
3月7日	播磨圏域ものづくりプラットフォーム モビリティの未来が見えてきた (会場：姫路商工会議所)

ウ その他

当協会の事業紹介及び成果等の普及啓発のため、セミナーやシンポジウムに参画した。

事 業 名	内 容
甲南大学 先端研究社会実装シンポジウム	・開催日：9月15日　・会場：甲南大学岡本キャンパス ・主催：甲南大学 ・後援：ひょうご科学技術協会ほか
兵庫県立大学 知の交流シンポジウム 2023	・開催日：9月22日　・会場：神戸商工会議所 ・主催：兵庫県立大学知の交流シンポジウム2023実行委員会 ・後援：ひょうご科学技術協会ほか
2023年度一般向け スパコンセミナー	・開催日：10月14日 ・主催：兵庫県、神戸市、(公財)計算科学振興財団 ・後援：文部科学省、ひょうご科学技術協会ほか
令和5年度 企業・大学・学生マッチング in HIMEJI2023	・開催日：11月17日　・会場：兵庫県立大学姫路工学キャンパス体育館 ・主催：姫路地域産学官連携事業実行委員会 ・後援：ひょうご科学技術協会ほか
スーパーコンピュータ・ ソリューションセミナー 2023	・開催日：12月15日　・会場：神商ホール ・主催：(公財)計算科学振興財団、神戸商工会議所 ・後援：文部科学省、経済産業省、ひょうご科学技術協会ほか

(2) ものづくり共創セミナー

製品の企画・研究・開発・生産を、消費者や連携企業、大学・研究機関、自治体など様々な関係者と協力して行うことで、新製品の開発や多様化するユーザーニーズへの対応など、新たな価値を創出するという取り組みを推進することで地域の活性化に資することを目指して、ものづくりの高度化や新産業の創出に繋がる技術、情報を紹介する「ものづくり共創セミナー」を、関係団体と共に開催した。

	内 容	参加者数(人)
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日:8月22日（姫路商工会議所会議室、及びWeb開催） ・テーマ:メタバースが生み出す 新たなビジネス展開と活用に向けて ・内容: ①メタバースの基礎とビジネス展開の可能性 ・講師 株式会社デナリパム 代表取締役 井本 直正 ・内容: ②企業価値向上や人材採用へつながるWeb活用 ～ホームページ&メタバース～ ・講師 株式会社ディーエスブランド 西日本販売本部 本部長 小濱 慶郎 ・内容: ③メタバース体験会（会場参加者限定） 	会場・Web 合計94
第2回 (令和5年度ものづくりシンポジウム)	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日:12月13日（オンラインセミナー） ・テーマ:はじめの一歩を踏み出そう！脱炭素セミナー ～ヒントが見つかる脱炭素のポイントをご紹介！～ ・内容: ①中小企業でも大丈夫「カーボンニュートラルの取り組み」 ・講師 無エネルギーソリューションジャパン 代表取締役 田嶋剛史 ・内容: ②経営×カーボンニュートラル ～事例と計画策定方法のご紹介～ ・講師 独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部 中小企業アドバイザー 小西豊樹 ・内容: ③中小企業の脱炭素に向けた最新動向と施策 ・講師 近畿経済産業局資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進室 調査官 内野薰美 	Webのみ 71
合 計		165

8 兵庫県ビームラインの産業利用の促進

(1) 兵庫県ビームライン等の管理運営

兵庫県の委託を受け、県がSPring-8に整備している2本の県専用ビームライン（BL24XU、BL08B2）及び、放射光の産業利用支援拠点である兵庫県放射光研究センターの管理運営を行った。

・兵庫県ビームラインの概要

BL24XU (SPring-8初の専用ビームライン) H10年6月供用開始	BL08B2 H17年10月供用開始
<p>ミクロンサイズの細いビームと明るい輝度のX線が活用できるため、極小物質の分析等が得意。コンピューターやモバイル機器等の電子部品の結晶構造の評価や製薬等に活用されている。</p>  	<p>ハンドリングし易いX線ビームと、企業に人気の高い標準的な分析手法を幅広く提供。金属材料、ゴム、樹脂、自動車の触媒、リチウム電池材料など様々な材料評価に活用されている。</p>  

・兵庫県放射光研究センターの概要

兵庫県ビームラインの利用支援機能と、企業等との共同研究機能を有する放射光の産業利用支援拠点

開 設：平成20年1月

施設内容：共同研究室10室、ビッグデータ生成室等



兵庫県放射光研究センター

共同研究室入居機関：住友ゴム工業（株）（1室）、名古屋工業大学（1室）、

（公財）高輝度光科学研究所（2室）

(2) 放射光産業利用の促進に向けた支援

放射光の産業利用を一層促進するため、兵庫県放射光研究センターを拠点に、兵庫県ビームラインやラボ版HAXPES（硬X線電子分光装置）を活用し、企業への技術相談・助言や測定・解析等受託サービスの放射光利用支援等を実施した。

ア 兵庫県ビームラインの利用実績

区分	BL24XU	BL08B2	計
利用機関	17機関 (産業界14、大学等3)	8機関 (産業界8、大学等0)	22機関
研究課題	18課題	16課題	34課題

※利用機関数は、各ビームラインの利用機関に重複があるため、計と一致しない。

イ 企業への技術相談・助言

放射光に関心を持つ企業の技術相談に応じるほか、企業における活用事例を示して、企業の SPring-8 利用に向けた助言を行った。

- ・相談件数：26 件

ウ 測定・解析等受託サービス

SPring-8による試料の測定から解析までを代行する受託サービスを実施した。

- ・受託件数：12 件

(3) 産業利用促進のための普及・啓発

放射光の研究成果や新たな産業利用分野の開拓など産業界に向けた情報提供を行い、産業利用の促進に向けた普及・啓発活動を実施した。

ア 産業利用報告会の共催

SPring-8 を用いた産業利用成果発表を通じて、放射光の有効性を産業界に周知するとともに、産業界ユーザーの相互交流を目的として、SPring-8 利用推進協議会等と共に、「第 20 回 SPring-8 産業利用報告会」を開催した。

- ・開催日：令和 5 年 9 月 7 日(木)・8 日(金)
- ・開催場所：神戸国際会議場(神戸市中央区)
- ・内容：口頭発表(19 件)、ポスター発表(75 件)、パネルディスカッション
- ・参加者数：221 人

イ ひょうご SPring-8 賞の実施

大型放射光施設 SPring-8 の認識と知名度を高めるため、SPring-8 を活用した研究成果の中から、実用化・製品化につながり、社会経済全般の発展に寄与することが期待される研究成果を選考し、「第 20 回 SPring-8 産業利用報告会」において、表彰式と受賞者による受賞記念講演を実施した。

受賞者名	受賞テーマ
田村 俊紘 (花王㈱)	紫外線が関与する毛髪のうねり発生機構 の解明と髪にも使える日焼け止めの開発

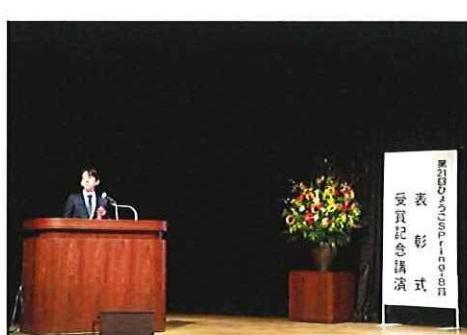
・第21回ひょうごSPring-8賞表彰式・受賞記念講演

日 時：令和 5 年 9 月 7 日(木) 11:10～12:10

場 所：神戸国際会議場



受賞者と実行委員等で記念撮影



受賞記念講演

9 イノベーションの創出に向けたプロジェクトの推進

(1) マテリアルズ・インフォマティクスの活用促進

放射光の産業利用ニーズの変化に対応するため、マテリアルズ・インフォマティクス（膨大なデータの解析から帰納的に新たな材料設計の指針を得る研究手法）の活用に向けた企業人材の育成等を実施した。

ア 兵庫県マテリアルズ・インフォマティクス研究会による人材育成

マテリアルズ・インフォマティクスに関心のある SPring-8 ユーザーで構成する「兵庫県マテリアルズ・インフォマティクス研究会」を運営し、マテリアルズ・インフォマティクス活用企業の裾野拡大に向けた講演会、実習等を開催した。

・開催実績

名 称	概 要
AI/機械学習/ビッグデータ 解析セミナー	<ul style="list-style-type: none">・開催日:①6月27日、②7月25日、③12月26日・講師: FOCUS・参加者数:延べ3人
AI/機械学習講習会 入門編	<ul style="list-style-type: none">・開催日:①7月13日、②11月16日・講師: (株)システム計画研究所・参加者数:延べ4人
AI/機械学習講習会 基礎編	<ul style="list-style-type: none">・開催日:①7月14日、②11月17日・講師: (株)システム計画研究所・参加者数:延べ2人
キャリア開発のための AI /機械学習	<ul style="list-style-type: none">・開催日:①7月27日、②7月28日、③8月24日、④8月25日、⑤9月28日、⑥9月29日、⑦10月19日、⑧10月20日、⑨11月30日、⑩12月1日、⑪12月14日、⑫12月15日・講師: (株)システム計画研究所・参加者数:延べ49人
データ駆動科学と AI の ための Python 入門 (連続講座)	<ul style="list-style-type: none">・開催日:①8月25日、②9月1日・講師: 兵庫県立大学 人工知能研究教育センター 副センター長 磯川悌次郎・参加者数:延べ143人
データ駆動科学 基礎編 (連続講座)	<ul style="list-style-type: none">・開催日:①9月29日、②10月6日、③10月13日、④10月20日・講師: 熊本大学 産業ナノマテリアル研究所 教授 赤井一郎・参加者数:延べ246人
データ駆動科学 応用編 (連続講座)	<ul style="list-style-type: none">・開催日:①11月10日、②11月17日、③12月1日・講師: 熊本大学 産業ナノマテリアル研究所 教授 赤井一郎・参加者数:延べ158人

兵庫県マテリアルズ・インフォマティクス講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日:8月3日 ・講師: 大阪大学大学院工学研究科 浜口智志、東京大学物性研究所 谷峻太郎、兵庫県立大学高度産業科学技術研究所 内海 裕一 ・参加者数:63人
兵庫県マテリアルズ・インフォマティクス講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日:1月23日 ・講師: 自然科学研究機 核融合科学研究所 星 建夫、奈良先端科学技術大学院大学 藤井 幹也 ・参加者数:64人
データ駆動科学の信頼性・保全性解析への適用 (連続講座)	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日:①11月30日、②12月7日、③12月14日 ・講師: 兵庫県立大学社会科学研究科 教授 貝瀬 徹 ・参加者数:延べ111人
GENESIS Users' Group 研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日:11月30日 ・講師: 理化学研究所 杉田有治、(株)理研数理 松崎健一、熊本大学 鄭誠虎、ほか ・参加者数:24人

(2) 次世代電池・半導体シンポジウムの開催

次世代電池等の分野での県の強み(科学技術基盤、研究機関、最先端研究等)や潜在力を発信するシンポジウムを開催した。

ア 次世代電池・半導体シンポジウム

- ・日 時 令和6年3月8日(金) 13:30~17:30
- ・会 場 ラッセホール ブランシュローズ
(WEBでも同時配信)
- ・参加者数 242人



会場内の様子

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	39,373,663	48,985,659	▲ 9,611,996
未収金	35,582,023	30,403,446	5,178,577
前払金	356,155	402,738	▲ 46,583
流動資産合計	75,311,841	79,791,843	▲ 4,480,002
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
国債公債	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
科学技術振興基金	3,932,168,102	3,942,168,102	▲ 10,000,000
播磨産業活性化基金	950,000,000	950,000,000	0
什器備品	0	2	▲ 2
減価償却引当資産	6,634,182	6,634,182	0
特定資産合計	4,888,802,284	4,898,802,286	▲ 10,000,002
(3) その他固定資産			
投資有価証券	5,614,760	5,614,760	0
什器備品	177,526	270,146	▲ 92,620
ソフトウェア	447,150	664,950	▲ 217,800
電話加入権	601,720	601,720	0
その他固定資産合計	6,841,156	7,151,576	▲ 310,420
固定資産合計	5,095,643,440	5,105,953,862	▲ 10,310,422
資産合計	5,170,955,281	5,185,745,705	▲ 14,790,424
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,419,306	12,665,112	▲ 4,245,806
前受金	2,772,000	1,242,000	1,530,000
預り金	706,205	392,270	313,935
賞与引当金	3,643,891	2,840,469	803,422
流動負債合計	15,541,402	17,139,851	▲ 1,598,449
負債合計	15,541,402	17,139,851	▲ 1,598,449
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金	3,173,829,042	3,173,829,044	▲ 2
寄附金	1,818,339,060	1,828,339,060	▲ 10,000,000
指定正味財産合計	4,992,168,102	5,002,168,104	▲ 10,000,002
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(4,792,168,102)	(4,802,168,104)	(▲ 10,000,002)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	163,245,777	166,437,750	▲ 3,191,973
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	(96,634,182)	(96,634,182)	(0)
負債及び正味財産合計	5,155,413,879	5,168,605,854	▲ 13,191,975
	5,170,955,281	5,185,745,705	▲ 14,790,424

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	当年度 (A)	前年度 (B)	増減(A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,039,599	4,032,315	7,284
特定資産運用益	74,485,235	43,117,159	31,368,076
事業収益	116,485,012	142,368,475	▲ 25,883,463
運営費補助金	17,904,000	15,596,636	2,307,364
受取交付金	0	43,655,883	▲ 43,655,883
受取補助金	11,000,002	10,200,000	800,002
受取負担金	2,133,805	1,241,861	891,944
受取寄付金	10,000,000	0	10,000,000
雑収益	2,083,805	3,118,376	▲ 1,034,571
経常収益計	238,131,458	263,330,705	▲ 25,199,247
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	229,160,361	251,425,529	▲ 22,265,168
給料手当	9,194,667	9,175,333	19,334
賞与引当金繰入額	28,130,083	44,677,766	▲ 16,547,683
福利厚生費	2,697,024	2,165,311	531,713
会議費	8,178,090	10,676,170	▲ 2,498,080
旅費交通費	35,120	41,304	▲ 6,184
通信運搬費	1,522,813	1,504,262	18,551
什器備品費	1,195,811	1,436,794	▲ 240,983
消耗品費	5,550,635	8,385,000	▲ 2,834,365
修繕費	5,599,929	5,007,294	592,635
減価償却費	1,726,780	1,752,740	▲ 25,960
印刷製本費	310,420	417,603	▲ 107,183
燃料費	1,431,782	1,277,440	154,342
光熱水料費	26,562	23,927	2,635
賃借料	3,772,994	4,338,561	▲ 565,567
ビームライン成果専有使用料	5,573,141	5,439,315	133,826
保険料	14,664,000	23,946,000	▲ 9,282,000
諸謝金	1,428,060	1,357,108	70,952
租税公課	3,248,200	4,660,200	▲ 1,412,000
支払負担金	1,828,800	4,350,800	▲ 2,522,000
支払助成金	6,528,446	6,549,321	▲ 20,875
委託費	57,457,104	57,587,007	▲ 129,903
雑費	68,866,327	56,447,306	12,419,021
管理費	193,573	208,967	▲ 15,394
役員報酬	12,163,068	12,870,640	▲ 707,572
給料手当	1,280,000	1,280,000	0
賞与引当金繰入額	1,989,702	2,640,914	▲ 651,212
福利厚生費	300,451	149,840	150,611
会議費	266,702	418,815	▲ 152,113
渉外費	12,408	4,840	7,568
旅費交通費	15,600	15,570	30
通信運搬費	117,530	87,476	30,054
什器備品費	385,503	368,418	17,085
消耗品費	0	383,900	▲ 383,900
印刷製本費	135,379	188,857	▲ 53,478
光熱水料費	225,390	196,030	29,360
賃借料	128,926	130,151	▲ 1,225
保険料	2,143,880	2,202,110	▲ 58,230
諸謝金	207,716	207,986	▲ 270
租税公課	32,650	35,150	▲ 2,500
支払負担金	333,925	427,975	▲ 94,050
委託費	4,130,131	3,405,508	724,623
雑費	457,175	706,680	▲ 249,505
経常費用計	241,323,429	264,296,169	▲ 22,972,740

科 目	当年度 (A)	前年度 (B)	増減(A-B)
当期経常増減額	▲ 3,191,971	▲ 965,464	▲ 2,226,507
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
除却損失	2	0	2
什器備品除却損	2	0	2
30周年記念事業費	0	3,225,780	▲ 3,225,780
経常外費用計	2	3,225,780	▲ 3,225,778
当期経常外増減額	▲ 2	▲ 3,225,780	3,225,778
当期一般正味財産増減額	▲ 3,191,973	▲ 4,191,244	999,271
一般正味財産期首残高	166,437,750	170,628,994	▲ 4,191,244
一般正味財産期末残高	163,245,777	166,437,750	▲ 3,191,973
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	3,173,829,042	▲ 3,173,829,042
受取兵庫県基金造成費補助金	0	3,173,829,042	▲ 3,173,829,042
一般正味財産への振替額	▲ 10,000,002	0	▲ 10,000,002
当期指定正味財産増減額	▲ 10,000,002	3,173,829,042	▲ 3,183,829,044
指定正味財産期首残高	5,002,168,104	1,828,339,062	3,173,829,042
指定正味財産期末残高	4,992,168,102	5,002,168,104	▲ 10,000,002
III 正味財産期末残高	5,155,413,879	5,168,605,854	▲ 13,191,975

正味財産増減計算書内訳表
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等 消 去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2,019,800	2,019,799		4,039,599
基本財産受取利息	2,019,800	2,019,799		4,039,599
特定資産運用益	67,636,191	6,849,044		74,485,235
科学技術振興基金受取利息	52,013,509	6,849,044		58,862,553
播磨産業活性化基金受取利息	15,622,682			15,622,682
事業収益	116,485,012	0		116,485,012
ものづくり支援センター業務受託収益	2,676,551			2,676,551
ものづくり支援センター利用料金収益	351,461			351,461
放射光研究センター業務受託収益	76,041,000			76,041,000
放射光研究センター利用料金収益	22,752,000			22,752,000
放射光研究センター成果専有料収益	14,664,000			14,664,000
受取補助金等	27,888,363	1,015,639		28,904,002
受取ひょうご科学技術協会運営費補助金	16,888,361	1,015,639		17,904,000
受取兵庫県補助金	11,000,000			11,000,000
受取補助金等振替額	2			2
受取負担金	2,133,805	0		2,133,805
受取負担金	2,133,805			2,133,805
受取寄付金	5,000,000	5,000,000		10,000,000
受取寄付金等振替額	5,000,000	5,000,000		10,000,000
雑収益	1,592,803	491,002		2,083,805
受取利息	30	581		611
有価証券運用益	97,763	45,921		143,684
雑収益	1,495,010	444,500		1,939,510
経常収益計	222,755,974	15,375,484		238,131,458
(2) 経常費用				
事業費	229,160,361			229,160,361
役員報酬	9,194,667			9,194,667
給料手当	28,130,083			28,130,083
賞与引当金繰入額	2,697,024			2,697,024
福利厚生費	8,178,090			8,178,090
会議費	35,120			35,120
旅費交通費	1,522,813			1,522,813
通信運搬費	1,195,811			1,195,811
什器備品費	5,550,635			5,550,635
消耗品費	5,599,929			5,599,929
修繕費	1,726,780			1,726,780
減価償却費	310,420			310,420
印刷製本費	1,431,782			1,431,782
燃料費	26,562			26,562
光熱水料費	3,772,994			3,772,994
賃借料	5,573,141			5,573,141
ビームライン成果専有使用料	14,664,000			14,664,000
保険料	1,428,060			1,428,060
諸謝金	3,248,200			3,248,200
租税公課	1,828,800			1,828,800
支払負担金	6,528,446			6,528,446
支払助成金	57,457,104			57,457,104
委託費	68,866,327			68,866,327
雑費	193,573			193,573

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等 消 去	合計
管理費		12,163,068		12,163,068
役員報酬		1,280,000		1,280,000
給料手当		1,989,702		1,989,702
賞与引当金繰入額		300,451		300,451
福利厚生費		266,702		266,702
会議費		12,408		12,408
涉外費		15,600		15,600
旅費交通費		117,530		117,530
通信運搬費		385,503		385,503
什器備品費		0		0
消耗品費		135,379		135,379
印刷製本費		225,390		225,390
光熱水料費		128,926		128,926
賃借料		2,143,880		2,143,880
保険料		207,716		207,716
諸謝金		0		0
租税公課		32,650		32,650
支払負担金		333,925		333,925
委託費		4,130,131		4,130,131
雜費		457,175		457,175
経常費用計	229,160,361	12,163,068		241,323,429
当期経常増減額	▲ 6,404,387	3,212,416		▲ 3,191,971
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
除却損失	2	0		2
什器備品除却損	2	0		2
その他損失	0	0	0	0
経常外費用計	2	0	0	2
当期経常外増減額	▲ 2	0		▲ 2
当期一般正味財産増減額	▲ 6,404,389	3,212,416	0	▲ 3,191,973
一般正味財産期首残高	89,258,607	77,179,143		166,437,750
一般正味財産期末残高	82,854,218	80,391,559		163,245,777
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	▲ 5,000,002	▲ 5,000,000	0	▲ 10,000,002
当期指定正味財産増減額	▲ 5,000,002	▲ 5,000,000	0	▲ 10,000,002
指定正味財産期首残高	4,562,998,574	439,169,530	0	5,002,168,104
指定正味財産期末残高	4,557,998,572	434,169,530	0	4,992,168,102
III 正味財産期末残高	4,640,852,790	514,561,089	0	5,155,413,879

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
有価証券の評価基準は原価法であり、評価方法は総平均法である。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品及びソフトウェアの減価償却方法は、定額法で行っている。
- (3) 引当金の計上基準
職員の賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当事業年度負担額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
国債公債	200,000,000			200,000,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
科学技術振興基金	3,942,168,102		10,000,000	3,932,168,102
播磨産業活性化基金	950,000,000			950,000,000
什器備品	2		2	0
減価償却引当資産	6,634,182			6,634,182
小 計	4,898,802,286	0	10,000,002	4,888,802,284
合 計	5,098,802,286	0	10,000,002	5,088,802,284

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
国債公債	200,000,000	(200,000,000)	(0)	—
小 計	200,000,000	(200,000,000)	(0)	—
特定資産				
科学技術振興基金	3,932,168,102	(3,842,168,102)	(90,000,000)	—
播磨産業活性化基金	950,000,000	(950,000,000)	(0)	—
什器備品	0	(0)	(0)	—
減価償却引当資産	6,634,182	(0)	(6,634,182)	—
小 計	4,888,802,284	(4,792,168,102)	(96,634,182)	(0)
合 計	5,088,802,284	(4,992,168,102)	(96,634,182)	(0)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
什器備品	2,454,900	2,454,900	0
その他固定資産			
什器備品	1,994,405	1,816,879	177,526
ソフトウェア	1,089,000	641,850	447,150
合 計	5,538,305	4,913,629	624,676

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第136回利付国債	197,562,000	216,358,800	18,796,800
第138回利付国債	640,000,000	687,296,000	47,296,000
第144回利付国債	100,771,000	107,480,000	6,709,000
兵庫県第4回15年公募公債	100,000,000	103,590,000	3,590,000
兵庫県第11回20年公募公債	200,000,000	216,700,000	16,700,000
兵庫県第17回20年公募公債	800,000,000	849,760,000	49,760,000
兵庫県第39回住宅供給公社債	50,000,000	49,910,750	▲ 89,250
兵庫県第50回住宅供給公社債	150,000,000	150,000,000	0
兵庫県第52回住宅供給公社債	40,000,000	40,000,000	0
北海道公募公債平成24年度第8回	100,000,000	108,660,000	8,660,000
愛知県平成22年度第8回公募公債	100,000,000	108,555,100	8,555,100
愛知県平成22年度第14回公募公債	100,000,000	112,482,000	12,482,000
愛知県・名古屋市折半保証第104回名古屋高速道路債	100,000,000	107,950,000	7,950,000
群馬県公募公債20年第1回	100,000,000	108,550,000	8,550,000
群馬県公募公債20年第5回	100,000,000	106,590,000	6,590,000
埼玉県第10回20年公募公債	100,000,000	108,920,000	8,920,000
静岡県第11回20年公募公債	120,000,000	130,260,000	10,260,000
静岡県第11回20年公募公債	80,000,000	86,661,840	6,661,840
静岡県第16回20年公募公債	100,000,000	108,690,000	8,690,000
静岡県第18回20年公募公債	400,000,000	423,720,000	23,720,000
大阪府第6回公募公債	99,980,000	109,110,400	9,130,400
京都府平成22年度第3回公募公債	99,980,000	109,430,400	9,450,400
福岡県平成22年度第1回15年公募公債	100,000,000	102,410,000	2,410,000
名古屋市第12回20年公募公債	100,000,000	108,210,000	8,210,000
京都市第9回公募公債	100,000,000	110,380,000	10,380,000
堺市平成22年度第1回公募公債	99,980,000	109,140,000	9,160,000
第116回地方公共団体金融機関債券	300,000,000	294,900,000	▲ 5,100,000
第8回三菱UFJ信託銀行社債(劣後特約付)	100,000,000	101,730,000	1,730,000
第8回三菱UFJ信託銀行社債(劣後特約付)	100,000,000	103,397,000	3,397,000
第75回国際協力機構債	10,000,000	9,946,000	▲ 54,000
オランダ水道金融公庫ユーロ円債	100,000,000	125,958,000	25,958,000
ソフトバンクグループ㈱第57回無担保社債	99,096,000	98,510,000	▲ 586,000
楽天グループ第18回無担保社債(社債間限定同順位特約付き)	98,699,000	72,770,000	▲ 25,929,000
合 計	5,086,068,000	5,388,026,290	301,958,290

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
兵庫県COEプログラム 推進事業費補助金等	兵庫県	2		2	0	指定正味財産
兵庫県最先端技術研究 事業費補助金等	兵庫県	—	11,000,002	11,000,002	—	—
科学技術振興基金造成 費補助金	兵庫県	3,173,829,042			3,173,829,042	指定正味財産
ひょうご科学技術協会 運営費補助金	兵庫県	—	17,904,000	17,904,000	—	—
負担金						
スマートものづくりセ ンター負担金	(公財) 新産業 創造研究機構	—	1,230,694	1,230,694	—	—
次世代成長産業育成支 援事業負担金	(公財) 新産業 創造研究機構	—	903,111	903,111	—	—
合 計		3,173,829,044	31,037,807	31,037,809	3,173,829,042	—

7 指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
科学技術振興基金取崩しによる振替等	10,000,002
合 計	10,000,002

附 屬 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略する。

2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	2,840,469	3,643,891	2,840,469	0	3,643,891

財産目録
令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 現金預金	手元保管 普通預金 三井住友銀行姫路支店、姫路信用金庫本店 当座預金 姫路信用金庫本店 定期預金 三井住友銀行姫路支店、姫路信用金庫本店 兵庫県ほか計79件 兵庫県職員互助サービス備ほか計6件	運転資金として 運転資金として 運転資金として	0 11,256,487 6,117,176 22,000,000 35,582,023 356,155
	未収金 前払金			75,311,841
流動資産合計				
(固定資産)	国債公債	愛知県債、埼玉県債	共用財産(うち公益目的保有財産50%、管理目的のために使用する財産50%)で、満期保有目的で保有。運用益を公益目的事業共通(50%)及び管理(50%)目的のために使用	200,000,000
	基本財産合計			200,000,000
特定資産	科学技術振興基金 国債公債 投資有価証券 外国債券 定期預金 国債公債 定期預金 科学技術振興基金合計	国債、大阪府債、堺市債、京都市債、名古屋高速道路債 ソフトバンクグループ債、楽天グループ債、兵庫県住宅供給公社債3件 オランダ水道金融公庫ユーロ円債 三井住友銀行姫路支店 国債、兵庫県債、北海道債、福岡県債、静岡県債、群馬県債、名古屋市債、地方公共団体金融機関債、国際協力機構債 三井住友銀行姫路支店	共用財産(うち公益目的保有財産50%、管理目的のために使用する財産50%)で、満期保有目的で保有。運用益を公益目的事業共通(50%)及び管理(50%)目的のために使用 公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業共通のために使用	378,435,240 278,238,000 100,000,000 1,665,820 3,170,000,000 3,829,042 3,932,168,102
	播磨産業活性化基金 国債公債 投資有価証券 定期預金 播磨産業活性化基金合計	国債2件、愛知県債、静岡県債、京都府債、京都市債 ソフトバンクグループ債、三菱UFJ信託銀行社債、楽天グループ債、兵庫県住宅供給公社債 三井住友銀行姫路支店	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を技術振興事業のために使用	594,253,000 355,217,000 530,000 950,000,000
	減価償却引当資産 減価償却引当資産合計 特定資産合計	楽天グループ債、兵庫県住宅供給公社債2件 定期預金(三井住友銀行姫路支店)	固定資産の調達に充てるために保有し、運用益を管理目的のために使用	4,340,000 2,294,182 6,634,182 4,888,802,284
その他 固定資産	投資有価証券 国債公債 その他投資有価証券 什器備品 ソフトウェア 電話加入権 その他固定資産合計	国債2件、京都市債 姫路信用金庫出資証券 実体顕微鏡ほか計6件 画像強調ソフトウェアMagicalFineほか計2件	満期保有目的で保有し、運用益を技術振興事業のために使用 当座貸越契約締結に伴う出資 公益目的保有財産であり、管理目的及び技術振興事業のために使用 公益目的保有財産であり、技術振興事業のために使用 管理目的のために使用	5,584,760 30,000 177,526 447,150 601,720 6,841,156
	固定資産合計			5,095,643,440
	資産合計			5,170,955,281
(流動負債)	未払金 前受金 預り金 賞与引当金	委託費(県専用BL維持管理・運転支援業務)ほか計98件 R6年度～等年間利用料 源泉所得税、住民税、社会保険料		8,419,306 2,772,000 706,205 3,643,891
	流動負債合計			15,541,402
	負債合計			15,541,402
	正味財産			5,155,413,879